



図書室整備にも大活躍の
学校図書館ボランティアさん

朝8時、名和小学校の図書館はオープンします。と同時にたくさん子どもたちが読みたい本を求めてやって来ます。「先生、リクエストしておい



ボランティアによる読み聞かせは、子どもたちが楽しみにしている時間。そして、新しい本との出会いの場です

「本は入りましたか？」
「今度は を入れてください」
といった話をする子もいれば、自分の読みたい本を探し当て、静かに読んでいる子もいます。8時から8時20分までが、図書館の一番にぎわう時間です。

このように、子どもたちをひきつけるには、まず、読みたい本がすぐに見つかることが大切です。名和小学校では、6月に図書館の配置換えをおこなったので、子どもたちにとって分かりやすい分類にしました。「読み物の部屋」と「調べものの部屋」を別々に設けた

り、テーマ別、作者別に分類したりするなどです。
次に大切なのが、読みたい本がどれだけ早く手に入るかということ。子どもたちからリクエストを取り、その返事を、朝一番目につきやすい児童玄関に掲示することにしました。これにより子どもたちは図書館についての最新の情報が得られるようになりました。図書館と一人ひとりの子どもとのつながりが強くなり、より個に応じたサービスが可能になりました。

また、子どもたちが読みたくなるような本との出会いの場を作ることも大切なことです。名和小学校の図書館は、入るとすぐに目に入る所に、月ごとに展示物の替わる「物語コーナー」があります。真っ先に目に飛び込んでくるので、文句なしに関心が行きます。月ごとに替えられるのも魅力のひとつです。

から先が楽しみです。
名和小学校の図書館がより一層、読書センター、学習情報センターとして充実するよう、大きな支えとなつていただいているのが、名和町在住の7人の学校図書館ボランティアのみなさんです。図書館整備の仕事はもちろんのこと、掲示物を作ったり、読み聞かせをしてくださったりと心強いかがりです。この方々に支えられて、10月22日から26日から29日の5日間、「読書まつり」が実施できました。ボランティアの募集は引き続きしていきますので、ぜひご協力をお願いします。

また、本年度から、図書館の充実を目指して「名和小学校図書館応援団」の組織を立ち上げ、3カ年計画で取り組んでいくことにしています。地域の方々やPTA、有識者の方々が集ま

り、名和小学校図書館についての意見を3カ年計画書に創り上げました。様々な視点や角度からの発言はとても参考になりました。今後の活動に反映させていきます。

名和小学校の図書館はこうして、着実に変化し続けています。そうした中で、子どもたちにとって魅力のある図書館に少しずつ近づきつつあることを実感するのはうれしいことです。ぜひ一度おいでください。



『地域とともに』

庄内小学校

地域に開かれた学校づくりに向け、地域とともにある教育活動、地域に根ざした教育実践に努めている庄内小学校のひとマを、ご紹介しましょう。
その一つは、9月と10月に実施しました『自由参観日』です。保護者や地域の方々に広く学校を開放し、いつでも自由に子どもたちの様子をご覧いただく自由参観日の取り組みは、地域への情報発信の場となっております。2回の自由参観で、延べ174人もの方々にお越しいただくことができました。

参観された方々からは、次のような感想をいただきました。
子どもたちが、楽しく意欲的に取り組んでいたこと
友達や先生の話をよく聞いていたこと
進んで発表する子どもが多かったこと
今後、しっかりと指導してきたいこととして、姿勢や言葉遣いなどを挙げていただき、温かく見守っていただいている地域の方々の熱い思いを強く感じ取ることができました。

次に紹介するのは『クリーンクリン活動』です。これは、子どもたちがおこなうボランティア活動で、毎日通っている通学路を中心に、地域にあるバス停などをきれいにするものです。

心無い者がポイ捨てした空き缶や空き瓶などのゴミを拾ったり、バス停を掃除したりすることにより、子どもたちが身近な環境問題に目を向け、実践をしていこうとする意欲を高めてくれるものと思います。
身のまわりの環境をきれいにするだけでなく、この活動を通して、子どもたち一人ひとりの心をもきれいに浄化してくれることを期待して実施しているのです。



笑みがこぼれる、かわいい1年生の学習風景



エイミー先生と一緒に、楽しい英語活動



バス停をびっかびかにする子どもたち

きれいな地域、充実した教育環境の中で、一人ひとりが輝くことのできる「オンリーワンの教育」を目指している本校の教育実践も、折り返し地点を過ぎました。これからも引き続き、保護者・地域のみなさんとともに歩む教育を実践するために努めてまいります。